

**2012 年
6 月号**

発行日 平成 24 年 6 月 15 日(第 49 号)
(月1回/毎月 15 日発行)
発行元 オフィスタ広報・宣伝部
東京都新宿区西新宿 5-8-1 第一とえビル

特集：『イベントのお仕事について』
(平成24年度エコライフ・フェア)
取材/オフィスタ広報宣伝部

オフィスタ NEWS 第 49 号発行にあたって

最近突然の雷雨が多かったですね。雷が降ることもあったりして、帰宅途中や外回り中に足止めされた方もいらっしゃるのではありませんか。続く異常気象のせいなのか気温も不安定で、春のような夏のような日が続いています。つい先日、東京でも梅雨入りしましたね。

梅雨の時期、部屋干しした洗濯物を見るだけで嫌になります。朝、雨が降っていない日は、いつも以上に天気予報をチェックして、出勤前に洗濯物を外に出していくか悩みます。部屋干ししても臭くならないという洗剤などにおいては軽減されますが、湿度の高さからカビが発生しないかととても気になりますよね。乾燥機か除湿機かあるいは扇風機を使って、できるだけ早く乾かすしかないのですが・・・梅雨の合間の晴れを有意義につかいたいですね。

今月を乗り切ればまた暑い夏がきますが、季節の変わり目で体調管理が大切な時期ですのでご注意ください。

“はたらきたいという気持ちを大切に”そして
“家庭もお仕事も大切に”

オフィスタは仕事と家庭の両立を目指してはたらく女性/ママさんを応援します。

今回のオフィスタ NEWS もお気軽に読んでくださればと思います。



- オフィスタのホームページをご覧になったことがありますでしょうか？オフィスタではWEB上でも色々なお仕事、メルマガバックナンバー、Q&A など有益なコンテンツを揃えております。

アドレスは下記↓

<http://www.offista.com>



お問合せ先 : Mail. info@offista.com
TEL.0120-178-172 (フリーダイヤル)
FAX.03-3379-5596

編集 オフィスタ広報・宣伝部 メルマガ担当係
発行 日本プランニング株式会社 <http://www.offista.com>
はたらく女性を応援します/育児とお仕事 人材派遣のオフィスタ
※オフィスタ NEWS バックナンバーもホームページから閲覧できます。

(C)2012 OFFISTA

特集：『イベントのお仕事について（エコライフ・フェア）』

/執筆：オフィスタ広報・宣伝部

オフィスタは一般事務職のハケン会社というイメージがあるかと思いますが、事務職以外にも販売・イベント運営・テレビ雑誌モデル等も行っております。元々オフィスタは官公庁系の財団法人・社団法人といった団体さまのお手伝いを得意とさせていただいていることから、公益法人特有の講習会・セミナー・イベント・資格試験等の受付業務、総会や理事会評議員会の補助業務から懇親会コンパニオンと事務職以外のお仕事も多々やらせていただいております。少し前までは、ハケンは料金が安いということで、講習会やセミナーをはじめとする受付業務等は女性職員や学生のアルバイトを雇って当日対応している団体さまが多かったのですが、最近は職員やアルバイトの単価よりも、むしろ安いということでご依頼が増えてきております。昨年に続き今年も環境省所管の団体さまよりご依頼を受けイベントのお手伝いをさせていただきました。当日イベント会場でのお仕事の様子をレポートしたいと思います。



6/2～6/3の二日間、代々木公園で「エコライフ・フェア2012」のブースにてお手伝いをさせていただきました。6月は環境月間ということもあり、省庁や企業・団体・NPO等たくさんのブースが出展され、天候にも恵まれ、エコに興味を持たれた方々がたくさん足を運ばれていました。メインステージでは細野豪志環境大臣や芸能人・アイドル他エコについてのトークや音楽で盛り上がっていましたよ。（来場者数約6万6千人）

私が担当させていただいたブースは、3R「リデュース（ゴミを減らす）・リユース（再利用）・リサイクル（再

資源）」の推進活動を行っている公益法人で、ブース内には3R活動に関するパネルが展示してあり、お越しいただいた方に3Rに関する簡単な〇×クイズをしてみました。まずブースの前に来て頂いたお客様に、「良かったら簡単なクイズやってみませんか？」と笑顔で声をかけると、年齢性別問わず多くの方が快く応じてくださいました。ブースの中にクイズのヒントが隠されていて、一生懸命ヒントを探しながらパネルを見ながら環境について学ぶ人もおられて、エコに対する意識の高さを感じました。クイズをしたらいざ答え合わせ。「全問正解でーす！！」と一緒に喜んだり、「おいしい！もう一歩」と間違った問題の答えと一緒に確認したりと、**お客様と一緒に学んだり喜んだりして人と接するお仕事の楽しさを実感しました。**最後にクイズに参加してくれた方には記念品をお渡しして、「ありがとう」とさらにお互いが笑顔になりました。



（ブース内でのお仕事風景）

今回二日間イベントのお仕事をさせて頂き、自分自身も環境に対する関心が高くなったような気がします。お買い物に行く時にはエコバックを持参したり、ゴミの分別やリサイクル、一人ひとりが出来ることから協力することにより、環境がもっと良くなり過ごしやすいになればいいですね。

あと、休憩時間に他のブースを回ったりステージを見たりして、限られた時間でしたがお仕事以外でも楽しい時間を過ごすことができるのもイベントならではのメリットです。ステージでは細野環境大臣と安めぐみさんのクールビズのお話を聞いたり、ミュージシャンの方の演奏を聞いたりして心地よいひと時もありました。また、隣ブースのNPOではネパールやバングラデッシュの方々が作った小物を売って現地支援をしている団体で、かわいい小物についつい手が伸びてしまいました。

オフィスタのスタッフ編 (^ ^)!

イベントでの1日のお仕事風景



本日は私たち2人が担当させていただきます。
(左はオフィスタ広報宣伝部、右はスタッフさん)



来場していただいたお客さまへの対応。
コンパニオンらしく・・・

お客様も喜んでくれる
ば私たちも嬉しい!



メインステージではH・ガーデンのライブが!!



まずはその日の仕事をしっかり教わります。

つつい
うっとり聞き
入っちゃうこ
とも・・・♪



配布物の準備
などお客様が
来る前に整理
しよう!



「どうぞ寄って
行ってくださ
い!」
声出しも
大事ですね



あれれ、お昼
頃から急に
混みだした
ぞ、忙し〜!



いつもは事務
職なので接客
のお仕事も良
い経験になり
ました。
(スタッフ談)



(取材協力: 3 R活動推進フォーラム)

参考: 昨年のエコライフ・フェアのお仕事風景

<http://www.offista.com/data/mailmagazine/1106a.pdf>

☆☆(社)日本雇用環境整備機構からのお知らせ☆☆

/オフィスタ業務管理部

『雇用環境整備士資格講習会の追加開催が決定』

育児・障がい・エイジレス（35 歳以上）の雇用促進の研究機関である（社）日本雇用環境整備機構（JEE：東京都新宿区）が平成24年度「雇用環境整備士資格講習会」を開催します。

育児・障害・エイジレスといった就業弱者を受け入れる企業側の職場環境は日本ではまだまだ十分に整備されていないが故に働きたくても採用されない、就業したけど職場の理解不足といった苦労は育児・障害・エイジレスの方々にとっては共通する悩み。その職場整備の担い手として期待されるのが、「雇用環境整備士」。

育児・障がい・エイジレス対象者の適正な採用基準確立、そして受け入れた後の職場環境整備のための専門知識者として認定された者で、役員・管理職・人事総務部局担当官向けに実施されます。資格者は各企業・団体の総務人事担当部局へ整備士として設置されることで企業の内側から職場環境促進を促すことを目的とした専門知識者養成資格です。

障害者を積極的に雇用する企業もちろん存在しますが、法定雇用率をクリアしている会社は全国的に見ればまだまだ少ない。障害者の方を雇用すれば助成金や補助金を出すという仕組みを導入しても企業は一向に動かない。それならば〇〇人以上を雇用しなさいという強制力を発動したのが法定雇用率だがそれでも企業は一向に動かない。障害者を雇用する事の企業メリットが見いだせていないためこのような現象が起きるのです。

例えばこんな事例がある。ある会社のオフィスでは社員の机周りはいずれも書類の山で足の踏み場もない。大事な資料紛失などは日常茶飯事で、仕事効率面から見てもデメリットが多い。たまりかねた社長が何度も「片付けろ！」と声を荒げるも、一向に改善する気配がない。そこに、たまたま車椅子の障がい者を1人雇用した。車椅子の社員が職場で働くようになってから、誰に指示されるでもなく職場の1人ひとりが自発的にデスク周りを片付け始めるようになったという。結果として業務の効率化や売上にも好作用をもたらした。

障がい者を雇い入れるプライスレスなメリットとは、こういう事例をいうのだと思います。助成金などで雇用促進を図ろうとしても、企業側はなかなか動かない。

でも、障がい者や育児女性、高齢者などの就業弱者を雇用することによるお金では買えない企業メリットは多々ある。しかしながら社内にそのような知識を有する者が居ない。結果として「育児中女性はすぐに休むから採用したくない」、「障害者を雇用してもメリットはない」、「仕方なく年齢不問で求人を出すが建前で実際は20代しか採用しない」等、お決まりのパターンで育児・障害・エイジレスの雇用を阻む壁は高くなる一方である。もし、社内に知識者が居て職場環境を整備することができれば・・・、企業の内側から必要性を声を出して発信できる者が居れば・・・、受け入れ側の意識は大きく変わるのです。このような間接的な支援体制を目指すのが（社）日本雇用環境整備機構で、職場整備を担う専門員として企業に設置されるのが雇用環境整備士です。

資格は第Ⅰ種（育児者雇用）、第Ⅱ種（障害者雇用）、第Ⅲ種（エイジレス雇用）のそれぞれの専門知識を有すると認められる場合に交付され、いずれか1種以上を取得している者が「雇用環境整備士」として認定されます。平成24年度は第Ⅰ種～第Ⅲ種までの全科目の講習会を開催、申込み開始から2週間程ですでに全会場が全国からの希望者で満席になり、急遽以下に追加会場の開催が決定されましたが、育児者・障がい者・エイジレスの受け入れへの問題意識をもつ企業・団体がこれだけ存在する以上、国内の雇用環境・職場環境の整備がされる日はそう遠い話ではないと信じています。

なお、追加会場も各会場満席が予想されるとのことで受講を希望される方は、お申し込みはお早めにどうぞ。

講習科目	追加開催日
第Ⅰ種(育児者雇用)	2012年8月27日(月)
第Ⅱ種(障害者雇用)	2012年8月31日(金)
第Ⅲ種(エイジレス雇用)	2012年8月23日(木)

*今回は資格試験は行いません。



詳細は同機構のホームページを参照又は同機構事務局までお問い合わせください。

<http://www.jee.or.jp/workshop/workshop.html>

お問合せ：同機構事務局（TEL. 03-3379-5597 講習会係）

☆☆お仕事Q&Aコーナー☆☆

投稿：R.Hさん 33歳女性

Q. わたしはハケンではたらいっていますが、130 万円以内の扶養の範囲内でお仕事をしたいと思っています。時給の他に通勤交通費が別途支給されている場合、交通費は扶養控除でいうところの収入に含まれますか？

A. 通勤交通費は、労働基準法では賃金（健康保険法等の社会保険では報酬）と解されていますが、所得税法上では所得税が免除されています。従って会社から支給される交通費については所得税が免除されています。しかし、健康保険のような社会保険では、交通費は報酬とされますので、交通費も健康保険料とか厚生年金の保険料の計算の基礎となる標準報酬月額決定の基礎となる報酬月額に含まれます。また、ご主人の扶養に入るなどの年収の計算である 130 万円未満についても交通費はその基礎となりますので、被扶養者であるためには、恒常的に支給される交通費も含めて年間の収入が 130 万円未満であることが必要です。（大滝）

（注）上記は 130 万円未満/年の扶養控除を受ける際の解説であり、103 万円未満/年の扶養控除を受けるときの解説ではありません。

…＜そのほかの気になるお仕事の疑問募集中＞…

お仕事に関する疑問なんでもどしどしお寄せ下さい。オフィスタの顧問社労士をつとめる大滝岳光先生（神奈川県立産業技術短期大学）と馬場実智代先生（馬場社会保険労務士事務所長）がお答えしてくれます。

▼あなたのお悩みも受け付け中。仕事や職場に関する疑問をお寄せください！

▼過去のQ&Aバックナンバーはオフィスタ・ホームページからダウンロードできます。

<http://www.offista.com/coffee/index/coffee.html>

派遣クイズ

買い物をする時に、環境のことを考えてなるべく環境負担が小さいものを買うことを何と言うでしょう。正しいものを選んでください。

- ①エコショッピング
- ②ライフサイクル
- ③グリーン購入
- ④オレンジエコロジー



（答えは最終ページ）

☆☆オフィスタからのお知らせ☆☆

/オフィスタ総務部

（株）オピニオン社の発行する『月刊 人材ビジネス』（2012.6月号）にオフィスタが取り上げられました。シリーズ「支援者としての人材ビジネス」のコーナーにおいて、オフィスタのママさん派遣が解説されています。記事は育児中女性の支援/社会貢献のキーワード/派遣会社のもう一つの役割を語るといった項目でインタビュー記事が掲載されております。6～7月号の二刊に渡り前編・後編で組まれております。本紙をご希望の方はオフィスタまたは書店にて、お求めください。下記アドレスからもダウンロードできます。



【ダウンロード】

●オフィスタ・インタビュー記事抜粋版

<http://www.offista.com/data/official/opinion1.pdf>

『家事代行お試しキャンペーン（福利厚生）』

ママさん派遣のオフィスタが福利厚生サービスで提携している家事代行会社「ベアーズ」からキャンペーンのお知らせが届きましたのでお知らせします。

オフィスタのご登録者全員に『TOYOU（梅雨）エアコンクリーニングキャンペーン』です！

A コース：エアコン＋抗菌コート	
	11,000 円（通常 15,600 円）
B コース：エアコン＋抗菌コート＋室外機	
	14,800 円（通常 20,600 円）
C コース：エアコン＋抗菌コート＋室外機＋ベランダ＋窓	
	29,800 円（通常 40,200 円）

日頃手の届きにくいエアコンクリーニング、夏を迎える前に是非お試しください。キャンペーン中に B コースまたは C コースをお申し込みの方にはダイソンの掃除機が当たるチャンスも☆（抽選 5 名様に）

＜注意事項＞

- ★キャンペーンお申し込み期間は H24. 7. 31 迄になります。
- ★お申し込みの際は「広告番号：12059 と、日本プランニング（オフィスタ）のメルマガを見た」とお伝え下さい。
- ★オフィスタへのご登録者（就業の有無は問いません）なら、どなたでもご利用できます。

さらに詳しい内容については下記をご参照ください。

<http://www.offista.com/data/press/120529.pdf>

お問合せ・お申し込みは（株）ベアーズ（TEL. 0120-552-445）またはオフィスタ総務部まで。

☆☆お仕事情報コーナー☆☆

総務省系公益法人で事務のお仕事

官庁系財団法人での PC を使った事務のお仕事です。PC 知識をお持ちの方や PC が好きな方、ツイッターやフェイスブック等の新しいものの好きの方を歓迎します。インターネットを使った調査業務ですので日常 PC を使っている方であれば公益法人経験は問いません。年間残業時間ゼロですのでママさんも歓迎です。

勤務形態：派遣 期間：長期/即勤務開始可能

勤務地：新橋（JR 新橋駅より徒歩 7 分）

勤務体系：月～金 9：30～18：15

※残業なし（年間通して残業ゼロ）

時 給：1,350～1,400 円（別途交通費支給）

※他諸手当有り、昇給有り、賞与有り

スキル・経験：

①エクセル・ワード

②長期ではたらける方のみ

③PC やインターネットが好きな方、自分でホームページを作っている方など歓迎

このお仕事はメルマガを愛読いただいている方を優先的にご紹介しているお仕事です。エントリーはメールまたはお電話にて受付けております。（その他のお仕事についてはオフィスタ公式ホームページをご覧ください）

いいお仕事との出会いは一瞬です。

“明日からではなく”

<http://www.offista.com>

…＜メルマガ オフィスタ NEWS について＞……

★お問い合わせ先

●配信停止

<http://www.offista.com/mailout.html>

●メールアドレス変更

<http://www.offista.com/melmaga.html>

●プライバシーポリシー

<http://www.offista.com/privacy.html>

●バックナンバーは下記からダウンロードできます

<http://www.offista.com/melmaga.html>

MEMO：

このメールはオフィスタ・メルマガ希望者及びオフィスタ関係者へお送りしております。

この内容に覚えがない場合や、システムに関するお問い合わせは下記まで。

お問い合わせフリーダイヤル／0120-178-172

お問い合わせ受付時間／10:00～17:00（土・日曜日、祝日を除く）

本誌の一部または全部を無断で引用、転載、放送することは、法律で定められた場合を除き、著作権者の権利の侵害となります。あらかじめ許諾をお求めくださいますようお願いいたします。

☆☆編集後記☆☆

〇おわりに

最近トマトの赤い色素「リコピン」の効能が注目されていますね。日本人には身近な野菜ですが、サラダのトマトは好きだけどトマトジュースはダメとか、トマトソースは好きだけど焼いたトマトはだめなど調理法で好き嫌いがありませんか？お子さんがいらっしゃる方は、子供の嫌いなものを色々な調理法で試して好き嫌い克服のため頑張ったことがあると思います。調理法で克服させるのはなかなか難しいですね。でも、大人になったらいつの間にか食べられるようになっていたという事もありますし焦らずに。

Reiko 記

オフィスタ NEWS 第 49 号作成委員

編集長 Korohi オフィスタ広報・宣伝部

編集 Reiko オフィスタ総合管理室

監修 makoto オフィスタ業務管理部

執筆 Yakka オフィスタ人事管理部

Nozomi オフィスタ人事管理部

Ricaco オフィスタ総務部

Yukka オフィスタ総務部

協力 大滝岳光人事労務研究所

馬場実智代社会保険労務士事務所

3R 活動推進フォーラム

社団法人日本雇用環境整備機構事務局

株式会社ベアーズ

派遣クイズの答え：③が正解

私たちの日常生活では、物を買ったり捨てたりの繰り返しです。物を買う前に、まずは本当に必要かどうか、長く使えるかどうかを考え、**包み**が**少ないもの**や**環境を考えて作られたもの**を選び購入することを**グリーン購入**といいます。こまめに電気を消したり、ごみを分別して資源のリサイクルをしたりすることと同じように、グリーン購入は今日からすぐに行うことができます。環境負担ができるだけ小さいものを提供したり購入したりすることにより、環境意識を高めることに繋がりますね。職場でも注意を心掛けるのは企業の環境整備への貢献として重要なことです。



オフィスタは次世代育成支援
対策推進法第 13 条に基づく
厚生労働大臣認定企業です。



オフィスタの派遣スタッフ

「育児中女性をよく 休む」は間違い？

そもそも「育児中女性

「派遣先候補の企業に対しての
第一声は、『オフィスタの派遣ス
タッフは休むかもしれません。そ

派遣先における 高いマッチング率の理由

コンタクトをしてくる企業の多
くも、戦力面での期待以上に「育
児中の女性を応援したい」という
CSR、社会貢献の意識で彼女た
ちを受け入れる。

れでも採用されますか？」なので
す。それを最初にはつきりと打ち
出します。子供が熱を出したら突
発的に休まなければならぬケー
スもあります。それでも構いませ
んか、と。オフィスタの派遣先、
紹介先は、そうした女性への理解
のある、支援者としての意識の
高い会社ばかりです。『子供が倒
れたら休むのは親として当然のこ
と』との意向を示してくれる派遣
先だからこそマッチング率も極め
て高いのです」。

なお、オフィスタへの
登録希望者は、育児中の
女性のみには限定されて
いない。現在は独身の働
く女性であっても、将来
の結婚、出産後の雇用不
安から、あらかじめ女
性の育児に理解のある会
社で働きたいという理由
でオフィスタに登録する
ケースも増えている。

はよく休む」という一般的な社会
認識についても、小松氏は「勝手
な思い込みの先入観だけが一人歩
きしている」と疑問を呈する。
「厚生労働省の調査データでは、
働く育児中女性が年間に会社を休
む日数の平均は9日。対する働く
独身女性の休みは6日。実は年間
通して3日しか変わらない。育児
中女性は頻繁に会社を休み、独身
女性は休まないという先入観は、
そうした情報不足も影響している
のだと思います」。

むしろ、若い独身女性はプライ
ベートでのお付き合いや飲み会な
ども多く、業務に支障を来してし
まうような事態も想定されます。
その点、育児中女性の場合はご主
人を送り出し、子供を保育園など
に預けてから出社する習慣がある
のでまず遅刻はない。子供のこと
で休む日はあってもプライベートの
余暇目的での休みは少ないとい
う隠れた評価の声もあるくらいで
す」。

オフィスタの派遣先のケースで
も、トップあるいは人事担当者な
どにそうした知識がある場合ほ
ど、育児中女性の休みに対しては

寛大であり、病児による突発的な
休みへの社内対応のマニュアルが
徹底されるなど、受け入れ側の職
場環境が整備されているのだとい
う。
「もつと具体的にいうと、受け
入れる企業内に、そうした知識の
ある人材が存在するかしないかだ
けの問題なのです。社内には1人
もいないのです。若い独身女性で
なければ採用しないという社風の中
で、社会貢献の観点からだけでな
く、育児中女性の雇用メリットや
職場環境を整備できるなどの知識
を有する人材が存在するだけで、
企業の内側から意識が変わって
くるはずですよ」（小松氏）。

こうした企業の内側からの意識
改革の取り組みを具現化するた
め、「社団法人日本雇用環境整備
機構」（事務局・オフィスタ）と
いう団体が設立された。育児者・
障がい者・エイジレスといった就
業弱者の雇用促進を目的に、企業
の職場環境を整備し、その担い手
となる「雇用環境整備士」育成を
公益的に進めている。詳細につ
いては、後編で紹介する予定だ。

（次号に続く）

「支援者」としての 人材ビジネス

高齢者雇用・障がい者雇用・外国人雇用
育児女性雇用・フリーター雇用

社会貢献のキーワードから探る
派遣・紹介の「もう一つの役割」

レポート 伊藤秀範

第十四回 企業・団体も受け入れを歓迎する オフィスタの“ママさん派遣” 前編

あえて「育児中の女性を応援したい」という“理解”のある企業・団体のみを得意先としているオフィスタのママさん派遣。前編の今回は、ビジネスの観点からでは生まれないオフィスタならではの雇用創出の取り組みに着目した。

営利を目的とした 人材サービスではない

人材ビジネスの世界では「なか
なか受け入れ先企業の開拓が難し
い」と敬遠されがちなのが育児中
女性の派遣と紹介。派遣に限らず
小さな子どもを抱える育児中女性
が就業するための壁は依然高い。
あえてその「アンタツチャブルな
領域」を専門に取り組んでいるの
が、育児中女性の人材サービス「オ
フィスタ」を展開する日本プラン
ニング。
その最大の特徴は、オフィスタ
の派遣先企業のほぼ100%が、
「ママさん派遣」に対して歓迎の
姿勢を示しているところだ。

「小さな子供がいるというだけ
で派遣登録を断られる、あるいは
仕事を紹介してもらえないという
育児中女性の声を多く耳にしてき
ました。一方で、そうした女性の
受け入れに対して抵抗がない、む
しろ社会支援の観点からも受け入
れに積極的な企業や賛同してい
ただける団体も実は多くあるの
です。しかし、営利目的という観

ではそこをうまく結び付けられる
会社が存在しない。ならば派遣会
社というよりも「支援会社」とし
てその仲立ちをしようと創設され
たのがオフィスタです」とは、同
社の小松誠取締役。

オフィスタではいわゆる法人営
業はしていない。広告宣伝はダイ
レクトメール程度である。雑誌な
どのメディア取材やWebサイ
トの情報、口コミを通じて、ママ
さん派遣に関心があったり一緒に
支援したいという企業側からの問
い合わせが来る。

「そもそも営利を目的としたビ
ジネスの観点ではやっていませ
ん」と小松氏。事業の方向性から



人材サービス「オフィスタ」で働くママさんを支援する小松 誠
取締役。「育児中女性の雇用メリットや職場環境整備の知
識、重要性を理解している人材が企業内にいることも重要
だ」と説明する

も公益法人寄りのソーシャルビ
ジネスに近い印象を受ける。
支援の手段としてあえて人材派
遣、人材紹介というビジネスモデ
ルを選択した理由について、小松
氏は「雇用を生み出すことが大前
提。オフィスタを立ち上げたとき
に将来必ず育児中女性の雇用は社
会問題になるはずだと確信してい
ました。育児中女性をぜひ使いた
いと望んでいる企業は現在たくさ
んあるのですから、そうした企業
を人材サービスとして支援すれば
よいと考えました」とキッパリ。
雇用創出、拡大の観点から、現在
のママさん派遣のスタイルを採り
入れている。